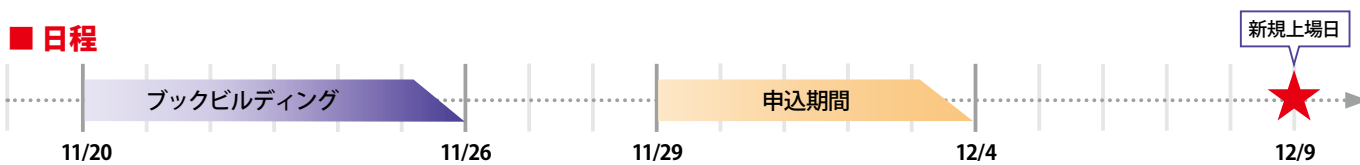


IPO銘柄 ホットリンク (3680・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3680	100株	公募: 18.88万株 売出: 28.0万株 (OA7.03万株)	2,570円~2,700円 (49.0倍)	野村証券

■ 日程



「ツイッター」などソーシャルメディア分析のクラウドサービスを手掛ける

■ 事業内容

ソーシャルメディア分析・調査のソーシャルクラウドサービスを手掛ける。ブログやツイッター、「2ちゃんねる」、電子掲示板などソーシャル・ビッグデータを分析。自社製品やサービスのトレンド、消費者ニーズの調査・分析、企業の風評調査・情報漏えいを発見するための機能やデータ・サービスを提供している。ビジネスは大きくクラウド型と受託型に分かれ、クラウド型ではソーシャルメディア分析の「クチコミ@係長シリーズ」やリスクモニタリングなどを行う「e-mining」などを提供する。受託型ではプロジェクト単位で課金するコンサルティングビジネスを提供。ソーシャルクラウドサービスの単一業態。

■ 特徴

データ面では「2ちゃんねる」データの独占的商用利用権を保持する。また、ツイッターでも全言語全世界における過去の全データへのアクセス権を保有しており、数年にわたる経年変化の分析が可能。サービスは大手広告会社やマーケティング会社へのOEM（相手先ブランドによる生産）提供を通して、ソーシャル・ビッグデータの分析を必要とする顧客企業に対し継続的に販売している。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年12月期の連結経常利益は1億3,000万円を計画。今期から連結決算を開始したため前年との比較はないが、収益規模は小さく、過去数年の業績を見ると、やや安定感を欠く印象。ただ、直近では海外著名企業との提携戦略を加速させており、将来の成長への期待感は強まっている。

■ 定性分析

流行りのソーシャルメディアを活用したビジネスを手掛け、成長イメージが強い。米国で株式上場して再び注目を集めるツイッターと密接な関連であることも手掛かり。IPOでは先端的なビジネスモデルを掲げるネット企業が評価されやすい傾向もある。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は14.5億円。上位株主はオプト<2389>や米セールスフォースなど取引先が占めており、市場に流出する懸念は乏しい。大人気の業種ということもあり、上場初日は大きな需給ギャップが生まれる可能性がある。(小泉健太)

■ 類似企業

ホットリンク(3680・マザーズ)	予想PER49.0倍 (仮条件上限)
トレンドーズ (6069・マザーズ)	予想PER43.4倍
イー・ガーディアン (6050・マザーズ)	予想PER26.9倍

■ 引受証券

野村証券、SBI証券、みずほ証券、SMBC日興証券、いちよし証券、SMBCフレンド証券、岡三証券、エース証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年12月期(実績)	504	17.7	107	28.6	108	48.8	97.2	—
12年12月期(実績)	640	27.0	42	▲60.7	29	▲73.1	32.3	—
13年12月期(会社予想)	932	—	130	—	64	—	55.1	—

※ 13年12月期から連結決算。13年8月に株式分割(1株→200株)を実施、11年12月期、12年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年12月期	5,614	339	252	201	280.4	74.3	48.6
12年12月期	5,629	717	384	203	376.1	53.6	9.2

※ 11年12月期および12年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	内山 幸樹	693,800	37.84
2	オプト	669,600	36.52
3	salesforce.com,inc.	56,000	3.05
3	シナジーマーケティング	56,000	3.05
3	日立システムズ	56,000	3.05
6	ホットリンク	48,800	2.66
7	成瀬 功一郎	46,400	2.53
8	On Fortune International Limited	31,400	1.71
9	高橋 和也	26,600	1.45
10	内山 典子	11,400	0.62
10	内山 康弘	11,400	0.62

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	内山 幸樹
取締役 COO	成瀬 功一郎
取締役 CFO	高尾 秀四郎
取締役	池田 誠
取締役	野内 敦
取締役	谷井 等
常勤監査役	山崎 美喜夫
監査役	福島 淳二
監査役	荒竹 純一

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会